

小沢一郎民主党幹事長発言に対する抗議声明

小沢一郎民主党幹事長は去る11月10日、和歌山県高野町における全日本仏教会松永有慶会長との会談後の記者会見において、キリスト教に対して「排他的で独善的な宗教だ。キリスト教を背景とした欧米社会は行き詰まっている」。またイスラム教について、「キリスト教よりはいいけど排他的だ」との見解を表明したと新聞報道されています。

私たち日本バプテスト連盟理事会は、今回の小沢幹事長の発言は宗教に対する偏見と誤解に満ちた差別発言であり、政治的な意図が窺え、看過することができません。また、この発言は宗教間の対話を非常に重要視している国際社会においても容認されるものではありません。むしろ、今日、世界においてはあらゆる人々が宗教、思想、信条などの違いを超えて共生や和解のために努力・尽力していることを認識すべきです。

私たちは小沢幹事長の今回の発言に対して厳重に抗議すると共に、今後、国際的にも見識を問われるような発言は控えるよう要望いたします。

なお、私たちはこれまでも、あらゆる人の命の尊厳を守り、平和を実現するために、他の宗教者の方々とも共に手を携え、祈り、行動して参りました。これからもその姿勢を大切にしていきたいと思います。

2009年11月12日

宗教法人 日本バプテスト連盟 理事会